

Narita Airport News

NAN

2026年1月5日号 No.368

新年のご挨拶



一般財団法人成田国際空港振興協会
会長 深谷 憲一

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新しい年を迎え、皆様におかれましては益々ご健勝にてご活躍のことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素より当協会の事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、国内外において多くの出来事がございました。国内では自然災害や事故が相次ぎ、防災・安全対策の重要性を改めて認識する一年となりました。海外では、戦争や紛争など不安定な情勢が続く一方、AI技術の進展や宇宙開発など、未来への希望を感じさせる動きも見られました。また、スポーツ界では、日本人メジャーリーガーの活躍が世界を沸かせ、明るい話題を提供してくれました。

成田空港におきましては、昨年7月に国へ報告した『新しい成田空港』構想に基づき、ワンターミナル化や新貨物地区の整備、アクセスの最適化、地域との連携強化など、将来に向けた取り組みが本格化しています。空港が国際競争力を高め、地域とともに持続的に発展していくためには、空港関係者一丸となった協力が不可欠です。当協会も、空港と地域を結ぶ架け橋として、引き続き多様な事業に取り組んでまいります。

旅客動向におきましては、国際線外国人旅客数がコロナ禍前を上回る水準で推移する一方、日本人旅客数の回復には引き続き課題が残されています。物価高や円安の影響は続いておりますが、2026年の干支「午（うま）」には、勢いよく駆け抜ける力強さと前進の象徴という意味があるとされています。この一年が、明るい未来へ向けて一步を踏み出す年になることを願っております。

結びに、本誌の編集にあたりご協力いただきました空港関係機関、企業の皆様に深く感謝申し上げますとともに、読者の皆様にとって2026年が希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう、心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

2026年の成田空港・航空業界は？

NAAグループの中期経営計画では、2030年にありたい姿として、「クリエイション（需要対応空港から価値創造空港への進化）」「サステナビリティ（次世代に向けた持続可能な空港づくり）」「レジリエンス（柔軟で強靱な企業グループへの変革）」の3つの実現を引き続き目指すとし、航空需要の回復期から再成長期に転じた今、これからの2025年度から2027年度の3年間を「新時代の成田空港に向けた変革の加速期間」と位置づけ、“価値創造空港”への進化に向けて加速していくとしています。

2026年新春企画として、成田空港を代表する機関・企業の皆様に「2026年の成田空港・航空業界について」コメントをいただきました。

本年が成田空港・航空業界にとって明るい年になりますようお祈りいたします。

明けましておめでとうございます。

昨年は機能強化事業が本格スタート、名称が「第2の開港」に決定、地域との将来像を描く「エアポートシティ構想」発表等、大きな節目となる年でした。

今年は各種事業が進展し、ここ成田が国家プロジェクトの中心舞台として飛躍的に発展していくことが期待されます。我々も安全・安心な航空サービスはもちろん、地域の発展に資するよう皆様と取り組んで参りますので、よろしくお願い申し上げます。

国土交通省 成田空港事務所
成田国際空港長 中村 文俊

明けましておめでとうございます。

税関は、旅客の出入国手続きや輸出入貨物の通関において、円滑なヒトとモノの流れを確保するとともに、不正薬物や金の密輸入防止等を目的とした厳格な水際取締りを行い、安全安心な社会の維持に貢献しています。

本年も、日本最大の空港税関として、強い使命感をもって取り組んでまいりますので、皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

東京税関
成田税関支署長 荒巻 英敏

新年明けましておめでとうございます。

昨年の成田空港における出入国者数は増加傾向が続き、今後も外国人の新規入国者数を中心に、増加傾向が続くものと見込まれます。

本年も引き続き皆様との連携を図りながら円滑な出入国管理に尽力するとともに、厳格な出入国管理に取り組み我が国の安全安心を守る責務を果たしてまいります。

本年も皆様の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

東京出入国在留管理局
成田空港支局長 福谷 孝二

新年、明けましておめでとうございます。

2026年は、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックやFIFAワールドカップなど、世界的なスポーツイベントが開催され、国際交流が活発になる年です。

一方で、海外では依然として蚊が媒介するデング熱、マラリア等の感染症に罹患するリスクがあります。検疫所では引き続き水際での感染症対策と輸入食品の安全確保に万全を期してまいります。

本年も皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

厚生労働省
成田空港検疫所長 平子 哲夫

新年明けましておめでとうございます。

2026年はANA国際線定期便就航40周年を迎えます。1986年に成田から世界へ翼を広げ、この記念すべき節目を迎えられたのは、ひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

40年の歴史を胸に、安全運航と更なるサービス向上に努め、成田から世界へ「感動と安心」をお届けすべく邁進する所存です。皆様にとって、幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

全日本空輸株式会社
上席執行役員 成田空港支店長 小山田 亜希子

新年あけましておめでとうございます。

皆様に支えられ、弊社は昨年5月に成田—シカゴ線を開設することができました。

本年も1月17日より成田—デリー線を新たに開設するべく準備を進めております。

JALグループは引き続き皆様との連携を図りながら、成田空港機能強化に向けた準備を加速しつつ、安全を大前提に高品質なサービスを提供して地域・社会の発展に貢献してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本航空株式会社
成田空港支店長 大八木 淳子

明けましておめでとうございます。

昨年は皆さまのご支援に支えられ、当社は初便就航から40周年を迎えることができました。この記念すべき年に、8月にANAグループの一員となり、9月のドイツ・フランクフルト線の開設など、これからの新たなステージへ向け着実に前進をして参りました。

今後も安全を最優先に、国際航空貨物輸送を通じて日本と世界の社会・経済・文化の発展に貢献してまいります。本年もよろしくお願いたします。

日本貨物航空株式会社
代表取締役社長 本間 啓之

明けましておめでとうございます。

今年の干支は丙午（ひのえ・うま）。情熱と行動力で、新しい挑戦や大胆な「改革」を進めるのに最適な一年といわれています。成田空港をご利用の皆さま、また関係各所の皆さまの夢や目標が大きく前進することを心より願っています。

昨年から、充実した国内線路線網を維持しながら、国際線の拡充に注力しています。去年12月には成田＝高雄を就航し、今年2月から成田＝香港の運航を再開する予定で、成田発着の旅の選択肢をさらに広げてまいります。

今後も安全・安心を第一に、より多くのお客さまに低運賃での気軽な空の旅を提供してまいります。本年も何卒宜しくお願いたします。

ジェットスター・ジャパン株式会社
代表取締役社長 田中 正和

新年明けましておめでとうございます。

昨年はPeach初となる複合訓練施設を開設し、安全性・サービス品質向上と人材育成基盤の強化に向け、全社一丸となり決意を新たにした一年でした。

本年は、1月1日から東京（成田）－台北（桃園）線を増便し、より多くのお客さまに成田空港を起点とした気軽な空の旅をご提案いたします。Peachは、引き続き安全を最優先に、愛あるフライトをすべての人にお届けできるよう努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願申し上げます。

Peach Aviation 株式会社
代表取締役 CEO 大橋 一成

新年あけましておめでとうございます。

昨年は皆さまのご支援のおかげで、成田から7都市に就航している中国路線を中心にした旅客便を、多くのお客さまにご利用いただきました。また、貨物専用便も順調に運航中で、成田地区を始め、日本における物流の安定化にも貢献できました。

スプリング・ジャパンは今後も人流の活性化と物流の安定化に貢献すべく「安全・誠意・笑顔」を胸に、安全運航に取り組んでいきます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

スプリング・ジャパン株式会社
代表取締役社長 浅見 達朗

新年あけましておめでとうございます。皆さまに支えられ、弊社はこれまでに6か国10都市と定期路線を結んでまいりました。本年は成田空港の機能強化と歩調を合わせ、追加する航空機を用いてネットワークを拡充してまいります。

本年も安全最優先の運航を旨とし、使いやすい料金でアジア・北米と成田空港を結ぶことで、地域の皆様に恩返しを果たしてまいります。皆様にとり2026年がいよいよ年になりますよう祈念しております。

株式会社 ZIPAIR Tokyo
代表取締役社長 西田 真吾

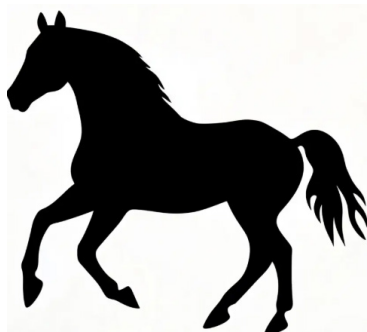
新年明けましておめでとうございます。

一昨年、従来のANAブランドを運航する会社から、新ブランド”AirJapan”も運航する二刀流の航空会社となりましたが、4月からは、再びANAブランドのみを運航する航空会社として再出発します。

これまでの”AirJapan”へのご支援に感謝申し上げますと共に、引き続き、ANAブランドの運航を通じ、成田空港の発展に貢献して参ります。本年もどうぞよろしくお願致します。

株式会社エアージャパン
代表取締役社長 峯口 秀喜

※掲載は順不同。



あけましておめでとうございます。

昨年は、堅調なインバウンド需要に支えられ外国人旅客数が年度上期として過去最高を記録するなど、多くのお客様に成田空港をご利用いただきました。

日々の安全な運用を確保しつつ常に安全への意識を高めながら、「成田空港第2の開港プロジェクト」である“更なる機能強化”や『新しい成田空港』構想の着実な推進を図り、日本の国際競争力を支える社会インフラとして、そして地域の皆さまの暮らしや産業を支える拠点として、たゆまぬ成長を続けてまいります。本年もどうぞよろしくお願申し上げます。

成田国際空港株式会社
代表取締役社長 藤井 直樹

NAA 中間連結決算は「増収減益」

NAAは2025年11月27日、2026年3月期(2025年度)の中間連結決算と通期見通しを発表しました。

中間連結決算の営業収益は、国際線においてアジア、北米路線を中心とした旅客便の新規就航や増便もあり好調に推移した結果、空港使用料収入、旅客施設使用料収入、物販・飲食収入を中心に増収となり、前年同期比6.4%増の1,358億円と5期連続の増収、上期としては民営化以降の最高値を更新しました。

営業費用は人件費の増加、需要増加に対応した施設運営や老朽化した施設の修繕・更新等による費用の増加もあり、前年同期比8.1%増の1,132億円、営業利益は同1.4%減の225億円、経常利益が同2.6%減の214億円、親会社株主に帰属する中間純利益は、更なる機能強化事業の進捗に伴う固定資産除却損等の発生により同19.0%減の158億円となりました。

セグメント別の空港運営事業は、国際線においてアジア、北米路線を中心とした旅客便の新規就航や増便もあり好調に推移した結果、営業収益は前年同期比9.2%増の563億円、営業費用は、人件費や物価上昇に伴う施設維持管理コストの増加により、同12.3%増の651億円、営業損失は、前年同期比14億円増加し、45億円となりました。

リテール事業は、国際線旅客数が前年同期を上回ったことに加え、新たな需要創出を目的とした新規出店が

売上に寄与し、物販・飲食収入が前年同期比0.9%増の463億円、構内営業料収入が同5.1%増の66億円となり、営業収益は同2.6%増の614億円、営業利益は同2.9%増の202億円となりました。

施設貸付事業は、第8貨物ビル供用開始(2024年10月)等により、営業収益は前年同期比6.3%増の156億円、営業費用は、同15.3%増の110億円の結果、営業利益は同7.6%減の54億円となりました。

鉄道事業は、成田高速鉄道アクセス線の線路使用料改定により、営業収益は前年同期比61.9%増の24億円、営業利益は、同269.2%増の13億円となりました。

航空取扱量見通しは、発着回数及び旅客数ともに前期を上回ると想定しています。国際線は、アジア路線を中心とする増便が見込まれることから、前期を上回り、国内線は、旅客需要は底堅いものの、24年度冬ダイヤにおいて生じた減便が通期化する影響から、前期をやや下回る想定としています。

一方で、通期の連結業績予想は、主にリテール事業において物販・飲食収入、構内営業料収入が上振れている状況等を踏まえ、営業収益2,762億円(前年同期比4.7%増)、営業費用2,478億円(同11.9%増)、営業利益283億円(同33.1%減)、当期純利益137億円(同61.0%減)と従来発表の連結業績予想を据え置くとなりました。

NAA中間連結決算

(単位:億円)

区分	中間期(4月1日~9月30日)				通期(4月1日~3月31日)			
	2024年度 実績 A	2025年度 実績 B	増減		2024年度 実績 C	2025年度 予想 D	増減	
			金額 B-A	% B/Ax100			金額 D-C	% D/Cx100
営業収益	1,276	1,358	81	106.4	2,637	2,762	124	104.7
営業費用	1,047	1,132	84	108.1	2,214	2,478	263	111.9
営業利益	228	225	△3	98.6	422	283	△139	66.9
経常利益	220	214	△5	97.4	404	241	△163	59.6
中間(当期)純利益	195	158	△37	81.0	351	137	△214	39.0

(注)決算数字は、単位未満を切り捨てて表示

成田空港 航空取扱量

区分	中間期(4月1日~9月30日)				通期(4月1日~3月31日)			
	2024年度 実績 A	2025年度 実績 B	増減		2024年度 実績 C	2025年度 見通し D	増減	
			数量 B-A	% B/Ax100			数量 D-C	% D/Cx100
航空機発着回数(万回)	12.2	12.7	0.5	104.2	24.5	25.5	0.9	103.9
国際線	9.5	10.2	0.7	107.8	19.5	20.8	1.2	106.3
国内線	2.6	2.4	△0.2	91.3	4.9	4.7	△0.2	94.3
航空旅客数(万人)	1,992	2,080	87	104.4	4,077	4,290	212	105.2
国際線	1,601	1,715	113	107.1	3,337	3,600	262	107.9
国内線	390	364	△26	93.3	739	690	△49	93.3
国際航空貨物量(万トン)	97	102	4	104.3	196	202	5	102.6

(注)航空取扱量は、単位未満を四捨五入して表示

「第2の開港」へ向けて対話型説明会実施中

国、千葉県、成田市、芝山町、多古町、NAA にて構成される「成田空港滑走路新增設推進協議会」は、成田空港の機能強化に向けた対話型説明会（オープンハウス）を昨年10月26日、芝山町からスタートさせました。今年1月19日（月）までの期間中、茨城県を含む空港周辺11市町で順次開催されています。

昨年、成田市役所で行われた説明会では、22枚のパネル展示と約7分間の動画を通じて、2029年3月の完成を目指す滑走路の新增設計画や発着枠を年間50万回に拡大する機能強化、将来的なターミナルビルを集約構想などの取り組みが紹介されました。

会場では、参加者から寄せられた様々な質問に対し、NAA職員らが丁寧に対応。地域住民との対話を重視した説明会は、空港の未来を共に考える機会となっています。

また、今後のスケジュールについては、以下のとおりです。

開催日	市町	会場
1月9日(金)～10日(土)	稲敷市	稲敷市役所 1階
1月16日(金)～17日(土)	河内町	河内町農村環境改善センターロビー
1月18日(日)～19日(月)	富里市	富里市すこやかセンター(保健センター)1階

※時間については、各日10:00～16:00



成田市の対話型説明会の様子

世界最高評価「5スター」 3年連続で獲得

成田国際空港は、SKYTRAX社が実施する空港格付評価「WORLD AIRPORT STAR RATING」において、評価最高位となる「5スター」評価を、3年連続で獲得しました。

特に、飲食・物販施設の拡充、新たな空港内滞在環境の整備、文化・芸術要素を含んだ雰囲気づくり、世界最高水準の清掃品質、空港スタッフのプロフェッショナルな対応等が高い評価を受けたとしています。



第1ターミナル インバウンド向けPRスペース
「NARITA BEYONDO」

GSE 充電インフラの大規模整備へ

NAAは、成田空港内で航空機の牽引などの作業に使う航空機地上支援機材車両（GSE）向けの大規模充電インフラを整備すると発表しました。

空港内車両の脱炭素化（電動化）を推進するため、制限区域内の空港関連事業者が所有するGSEが充電可能な充電インフラを10カ所に計約70基を整備し、同時に100台程度に充電できる規模にするとしています。

空港の脱炭素化に向けた取り組みの一環として、グランドハンドリング会社など空港関連事業者による電気自動車（EV）の導入を促進する狙いがあり、空港設置管理者がこの規模の充電設備を整備するのは国内初という。

業務に役立つ情報が満載!

2025成田空港ハンドブック 好評発売中

「成田空港ってどんなところ?」、「成田空港から就航している都市は?」、「サステナブルな空港って何?」など・・・疑問が解決できる資料集です



価格: 1,320円 (税込)

※本書籍は、書店などで流通している出版物ではありません

なお、『2025 年度成田空港ハンドブック』の発行をもちまして、終刊とさせていただきます。

1991 年の創刊以来、長きにわたりご愛読いただき、誠にありがとうございました。

この場をお借りし、心より厚く御礼申し上げます。

【主な内容】

- I 施設の概要
- II 成田空港の運用
- III 成田空港の経営
- IV 環境対策
- V 持続可能な空港を目指して
- VI 地域との共生・共栄に向けた動き
- VII 成田空港を取り巻く状況
- VIII 成田空港の主要経緯
- IX 資料

【購入方法】

当協会のホームページ又は右のQRコードからご購入ください。

注意：ネットショップは送料を含んだ金額となります。商品の受渡しは、発送のみの対応とさせていただきます。



保育ルームたんぽぽ

新入園児募集のお知らせ

現在、保育ルーム『たんぽぽ』では、2026 年度の新入園児の募集を行っており、毎月 2 回の見学会も開催中です。

詳しくは、当協会の保育ルーム HP にてご確認ください。

URL : <https://www.npf-airport.jp/tanpopo/>



たんぽぽ HP



《保育ルームたんぽぽの特徴》

- 開園時間 7:00 ~ 22:00 年中無休
- シフト勤務でも安心
- 専用駐車場有 電車でも駅から徒歩 5 分
- 事前予約で夕食や補食をご提供

- ネイティブによる英語遊び
- 専門講師による体育教室
- 栄養満点自園調理
- かさばるふとんや食具の持込不要でラクラク登園

★季節のイベントのほか空港ならではのイベント等も盛りだくさん★